

様式7

# 河川基金助成事業

## 「七瀬川とふれあう」 報告書

助成番号：2021 - 7111 - 002

大分県大分市 こころの森こども園

園長 徳浦 貞二

2021 年度

助成番号	助成事業名			学校名		
2021-7111-002	七瀬川とふれあおう			こころの森こども園		
校長名	徳浦 貞二	担当教諭名	日高 麻祐子			
過去の助成実績	なし					
キーワード	環境、幼児の自然認識、防災教育、保育者の支援					
対象児童生徒	保育園児（5歳児 19名）					
対象河川名	七瀬川	活動場所の指定状況	なし			
年間学習計画（シラバス）における本助成事業の位置づけ						
<p><b>テーマ：</b>七瀬川とふれあいう活動 水のチカラとスガタに触れ、生き物のイノチを支える働きがあることにきづく</p> <p><b>ねらい：</b>砂場での遊びから、様々な体験活動を通して、自然を感じ興味関心を深める。川にはどのような草花や生き物が生息しているかを知り、川の中に入って遊ぶことで、水の冷たさ、流れの強さなど、七瀬川そのものの長を五感で感じる体験を通して、川の存在をより身近なものと感じ、たくさんの生き物が生息する豊かな自然があることを理解することができる。</p> <p><b>評価の観点：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂遊びから様々な遊びをすることができたか。</li> <li>・園庭に集まる虫や草花にきょうみをもてたか。</li> <li>・友達と協力して遊ぶことができたか。</li> </ul> <p>七瀬川に対して子ども一人ひとりが、身近な自然環境であることを認識し、川で遊ぶ活動を通して、川に流れる水の速さや強さ、冷たさを五感を通して感じ取り、そこに生息する生き物の多様さに気づき、川での安全な活動を理解し、楽しむことができる。</p> <p><b>活動時期：</b>砂場遊びについては4月から9月 川遊びについては、6月から7月</p>						
活動形態	総合的な学習の時間	教育要綱内容（環境）	教育要綱内容（健康）	学校行事	その他（ ）	合計
上記の活動時間数	時間	時間	時間	時間	9 時間	9 時間
支援者等（複数記入可）						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関（博物館、資料館）等		関係団体（漁協、農協）等		企業	その他
支援概要	<p>川の活動にあたっては、大分県の自然観察指導員（2名）の指導の下、保育士3名および園長、NPO 法人の会員、大分大学教授が補助を行った。観察活動の支援や事故防止にあたった。</p> <p>砂場や教室など園内での活動にあたっては、担当保育士のほか主任保育士や複数の保育士が支援や観察、事故防止にあたった。</p>					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位	学年単位	学校全体	連絡アプリを活用し、子どもたちの様子を写真、動画で保護者に配信。		
	対外発表（ ）					

### 安全対策に関する課題

申請段階では近隣にある大野川水系の乙津川にある「水の楽校」を想定していた。しかし、この場所は川筋が直線的で流れが強く速いので、保育園児にはレベルが高いと判断し、活動場所を七瀬川に変更した。蛇行の激しい七瀬川は、この場所で洪水が発生していた。この問題解消のため蛇行部分の入り口と出口を直結する改修工事が行われた。旧の河川の周りを整備し自然公園とした。旧川を生かして親水エリアとし、流れの緩やかな浅い川とし植物や昆虫魚などの生き物に触れ合うことのできる貴重な場所となっている。子どもの膝まで程の水深で整備され、休日などでは家族連れがよく利用する安心安全な場所である。

穏やかで、安全な水辺として整備されているが、降水などの自然が影響する場所であるので川の状況が刻々と変わる可能性があり、事故が起こる危険性はゼロではない。特に大勢の小さな命を預かる教育機関としての活動においては、安全確保のためのライフジャケットの着用と、事前に園で着用練習をしておく必要を痛感した。

また、数日前に雨が上流であり、水量が少し増し、川底の様子が少し深い場所などがあり、川底が変化していた。指導員の方が事前に点検して頂いているが、万一溺れるような事態に対応した救急用の浮き輪やロープなどを準備しておくこと、また、子供の持ち物などが流れに流された場合に対する対応を事前に練習しておくことも必要かと考えた。

### 活動の成果と今後の課題・展開

“科学する心”の芽は「発見」「疑問」「興味」「やってみる」「知る」「試行錯誤」「成功」の7つの側面があると考え。何事も子ども自らが「発見」することが、“科学する心”が育っていく出発点であると考え。その「発見」から少し掘り下げて「興味」を持つことで、さらに深く学ぶことができると考えてきた。興味を持ったことに、自分で「やってみる」、自分なりにどの方法が良いのか、この方法なら「成功」できたという「試行錯誤」を重ねて、そこに楽しさ・難しさ、などを経験していく。科学する心が育つ過程には、このサイクルが必要と考える。今回の実践は、子どもの興味や発見を大切にして、子どもの気づきに対して保育者は見守ったり、子どもの理解を受け止めたりしながらの声掛けを行った。子どもたちが自ら不思議に思い、“知りたい”と思ったことを実践に繋げることができた。今回の研究を進めていく中で、大人にとっては何気ないと考えられていたことや見過ごしていたことでも、子どもにとっては大きな発見であるということに大人が驚かされた場面もあった。

砂場遊びで見ると、川での体験が遊びの中に溶け込み、自然に見えるように、水の流れるルートがストレートな人工的なものから、曲線を帯びた湾曲した形に変わってきたことや、お絵かきに見ることができたように、体験したことの裏付けを図鑑などで調べて、より深く生き物そのものに親しみを感じる絵に代わってきた。また、砂場に来ている年少の園児に優しく接する姿をみることもできた。

今回の課題としては、保育者間で実践の共有ができていなかった点である。また保護者との連携も取っていききたい。本園では遠足など子どもたちが体験したことを振り返り、保護者や友人へ情報発信することで体験したことをまとめ、表現し情報共有する喜びを作るために壁新聞の制作を行ってきた。昨年遠足に行った後に、子どもたちが遠足についての新聞を作り、保護者が送迎時に見ることができるよう廊下に壁新聞として掲示していた。今回の川遊びでは壁新聞は作ることができなかった。

最後に、科学する心の芽を育てるためには、保育者も子どもと一緒に発見を楽しみ、共感していくことが大切だと考える。小さな発見や疑問から、周囲を巻き込んで子どもの学びとなるような展開ができれば、子どもたちの科学する心は育っていく。その小さな発見や疑問を見逃さぬよう、保育者も科学する目を持ってほしい。

### 活動内容と実施時期（主な活動を2つのみ記入）

	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期
データベースに登録する活動分野	学校部門	教育活動	体験活動系	川遊び	6月から7月
			体験活動系	砂場遊び	4月から9月

※データベースに登録する活動分野は、本冊子P. 46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7111-002	七瀬川とふれあおう	こころの森こども園・徳浦貞二



フィールド：こころの森園庭

日付：4月

コメント：砂場遊び「砂場で川を作ろう」

砂場に穴を掘ったり、水が通る道を作り、水を流す遊びが流行っている。

5歳児 Hくんが砂場に穴を掘って、水を入れていた。その穴より深い穴を掘った。今度は穴から水が流れるように道を作り、川のようにして掘り進めている。



フィールド：こころの森園庭

日付：6月2日

コメント：砂場遊び「砂場で川を作ろう」

Hくんが穴を掘って掘り進めている先で Sくんと Mくんが水を通す道を作ったり、水をバケツに入れて水を流したりしている。



フィールド：こころの森園庭

日付：6月2日

コメント：砂場遊び「砂場で川を作ろう」

Hくんが穴を掘って掘り進めている先で Sくんと Mくんが水を通す道を作ったり、水をバケツに入れて水を流したりしている。

Mくん「砂のところにいきよる。」

保育者「すごい！水が砂にいくことに気付いたんだね。」

Mくん「みて！よく見たらどんどん小さくなっていきよる（水が減っている）」

保育者「本当だね。水が砂に浸み込んでいっているね」  
同年代の気心の知れた友達同士で力を合わせて、協調しながら作業をすすめている。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7111-002	七瀬川とふれあおう	こころの森こども園・徳浦貞二



フィールド：こころの森こども園園庭砂場  
 日付：9月4日  
 コメント：砂場遊び「砂場で川を作ろう」工夫編1  
 自然の川の流れるように、カーブをつけた水路に水をいれ、うまく流れていることを確かめている。  
 川遊び体験で見たり、考えたことを砂場遊びの中で確かめている様子が見受けられた。



フィールド：こころの森こども園園庭砂場  
 日付：9月25日  
 コメント：砂場遊び「砂場で川を作ろう」工夫編2  
 水が砂場に吸い込まれてなくなってしまう。なぜなくなるのか。川底を水が吸い込まないようにすればよい。そこで、川底に板を敷き、防水対策をした。その上に砂をおいて川をつくればよいと考えた



フィールド：こころの森こども園園庭砂場  
 日付：9月25日  
 コメント：砂場遊び「砂場で川を作ろう」工夫編2  
 3歳児の園児も参加。川床となる板の上に砂を積み上げお手伝い。5歳児は自分の作業を進め、アドバイスをしながらその様子を優しく見守っている。



フィールド：こころの森こども園園庭砂場  
 日付：9月25日  
 コメント：：砂場遊び「砂場で川を作ろう」工夫編2  
 3歳児の園児も参加。水を入れるお手伝い。5歳児は堤防を作りながら、その様子を優しく見守っている。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7111-002	七瀬川とふれあおう	こころの森こども園・徳浦貞二



フィールド：七瀬川自然公園

日付：6月29日

コメント：川にいる生き物を描いてみよう

川遊びの事前の活動として、子どもたちに川遊びに行くことを伝え、川にはどんな虫や魚がいるか考えてもらい、それを自由に絵に描いてもらった。すらすらと川にいそうな生き物を描いていく子どももいれば、なかなかペンが進まない子どももいた。しかし絵を描くことにより、川遊びに対する期待感と自分の想像を絵に表すという表現ができたのではないかと考える。



フィールド：七瀬川自然公園

日付：7月13日

コメント：七瀬川とふれあおう

七瀬川に向かって、スクールバスで出発進行。ワクワクドキドキ。川に触れる期待が高まってきている。



フィールド：七瀬川自然公園

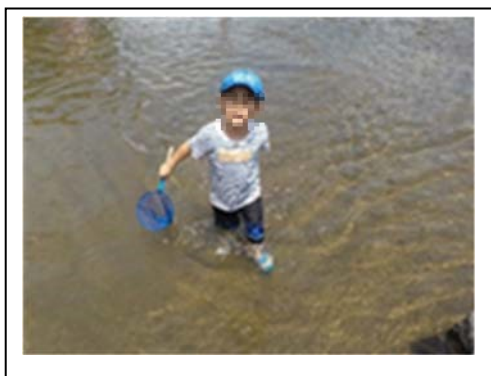
日付：7月13日

コメント：川の先生の説明を聞こう

七瀬川に着き、「自然観察指導員」（以下川の先生と呼ぶ）の話聞く。子どもたちが使う手網の使い方、川にはどんな生き物がいるか、どこに住んでいるか、どのようにしたら捕まえられるかの話をしてくれた。

川の先生「網をごそごそって川の中を揺らしたら虫を獲まえることができるよ。」

「捕まえた虫・魚は後で水槽に入れるからね。」



フィールド：七瀬川自然公園

日付：7月13日

コメント：川の水ってどんな感じかな

「冷たい！」「足に砂が入って気持ち悪い〜」「結構深いなあ」とそれぞれ感じたことを言う。

足を入れるのを少し躊躇する子どももいた。

保育者も足を入れて「冷たくて気持ちいいよ〜」と言うと、躊躇していた子どもがゆっくり足を入れていた。

初めての体験で、自然の中の水の温もりや流れの中での水の力を、体で感じ取っている。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7111-002	七瀬川とふれあおう	こころの森こども園・徳浦貞二



フィールド：七瀬川自然公園

日付：7月13日

コメント：どんな生き物がいるのかな

1人ひとり自分用の手網を持って、川の中に入れてすくい取るなど、川の先生の捕まえ方の真似をして、手網を前後にごそごと動かしてみる。

メダカを捕まえた子どもは「ちっちゃいお魚いた！」と発言。

川の先生が「それはメダカだよ」と返す。



フィールド：七瀬川自然公園

日付：7月13日

コメント：どこにいるかな

Dくんは川の先生と川に生えている草の近くで手網を前後に動かしていた。すくってみると手網の中には大きい魚がいた。

Dくん「大きい魚見つけた！⑤」

川の先生「本当だ！これはヨシノボリっていうんだよ」



フィールド：七瀬川自然公園

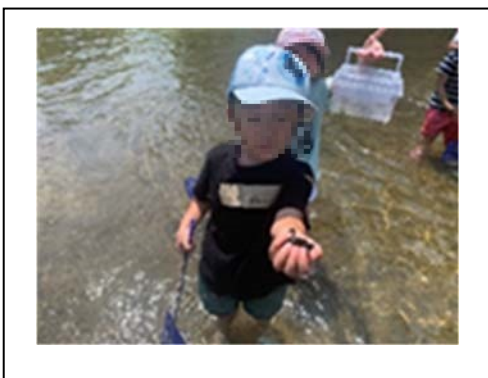
日付：7月13日

コメント：僕もわたしも捕まえてみたい

川の先生「ヨシノボリっていうのはドンコ（大分地方の呼び方）のことだよ」と教えてくれた。

Dくんは捕まえたドンコを見てとても嬉しそう。ドンコを水槽に入れていた。

それを見た周りの友だちが「私も獲まいたい！」と感化され、Dくんが獲まえた周辺に行き手網を前後に動かしていた。



フィールド：七瀬川自然公園

日付：7月13日

コメント：魚のほかに貝が撮れたよ

Aちゃんは手網で取った巻貝を見て「触れない…」と言っていたが、川の先生が「触ってみよ」と声を掛け、さらに友だちも実際に触る姿を見て触る勇気が湧いたようで、おそろおそろ触っていました。触れた後は「触れた！」と嬉しそうだった。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7111-002	七瀬川とふれあおう	こころの森こども園・徳浦貞二



フィールド：七瀬川自然公園

日付：7月13日

コメント：みんなで捕まえた生き物は何かな

川から上がってみんなで捕まえた虫や魚を水槽に入れて観察した。

川の先生が捕まえた虫や魚についてひとつずつ教えてくれた。

子どもたちは真剣に聞いていた。

最後に水槽に入っている虫や魚を実際に触ってみた。

帰りのバスでHくんに触った時の感想を聞いてみた。



フィールド：七瀬川自然公園

日付：7月13日

コメント：つかまえたいきものにふれてみたーい

最後に水槽に入っている虫や魚を実際に触ってみた。

帰りのバスでHくんに触った時の感想を聞いてみた。

はじめは子どもたちにとって川の中に入ること、川に足を入れたときに川底の中の砂や泥、小石を踏み感触を楽しむことができた。



フィールド：こころの森こども園

日付：7月13日

コメント：川遊びで見つけたことを絵に描こう

図鑑の索引のところから生き物の名前を探して描いていた

相談し、お互いの意見を出し合い、情報を共有して、図鑑や資料を調べて、川で見たもの確かめている。



フィールド：こころの森こども園

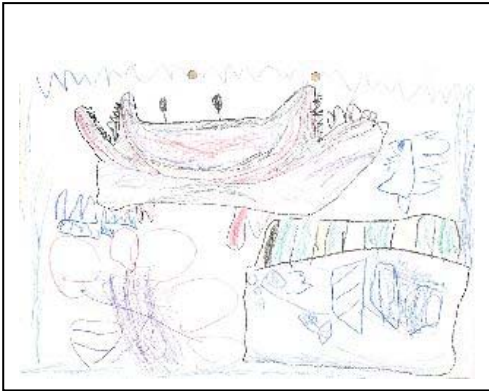
日付：7月13日

コメント：川遊び体験後のイメージ図 (Dちゃん)

川で見た・獲まえた魚や虫をそれぞれ思い出しながら描いていた。本物のように書きたいと図鑑で調べながら見て描く子どもが多かった。



助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7111-002	七瀬川とふれあおう	こころの森こども園・徳浦貞二

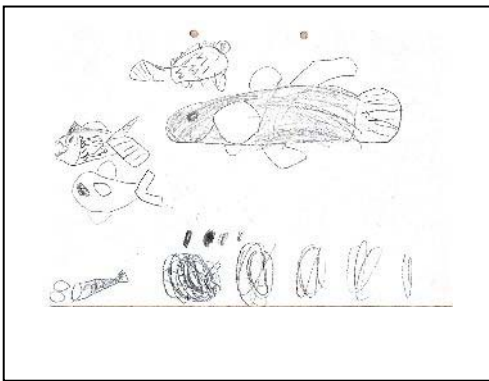


フィールド：こころの森こども園

日付：6月29日

コメント：川遊び体験以前のイメージ図 (Dちゃん)

大きく描かれているが、体の両側に大きな口がある物体。想像上のものか。口の形はサメのようであり、全体はカニかもしれない。

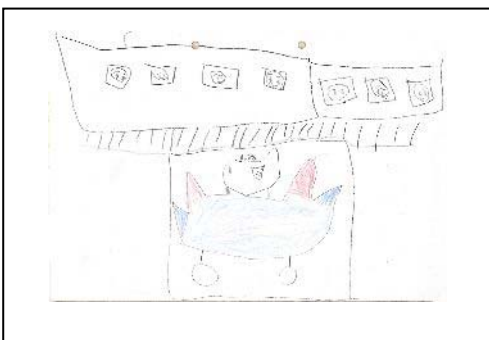


フィールド：こころの森こども園

日付：7月13日

コメント：川遊び体験後のイメージ図 (Dちゃん)

川での直接体験がとても印象的であったと考えられる。自分たちが捕まえた川のさかなや、シジミなどが描かれている。特に大きく描かれているのは、ヨシノボリであり、とても印象が深かったものとする。

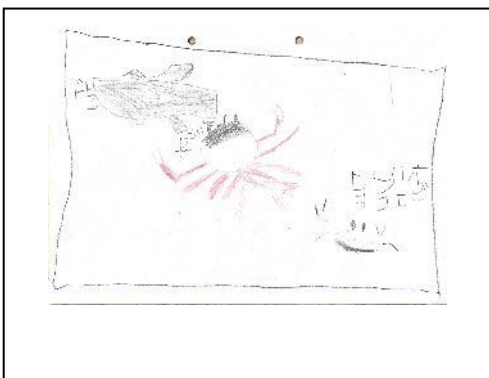


フィールド：こころの森こども園

日付：6月29日

コメント：川遊び体験以前のイメージ図 (Hちゃん)

体験前では、川について自由に思い出せるものという指示があった。水族館に行ったことを思い出しているのか。魚屋の番台に乗っているものか。



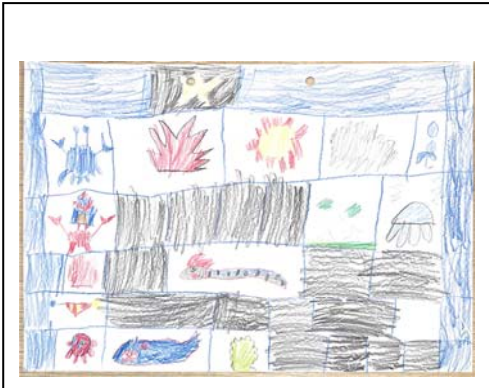
フィールド：こころの森こども園

日付：7月13日

コメント：川遊び体験後のイメージ図 (Hちゃん)

川で捕まえたサワガニやヨコエビがとても丁寧に描かれている。この子にとって、とても印象的な出来事であったと推察される。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7111-002	七瀬川とふれあおう	こころの森こども園・徳浦貞二



フィールド：こころの森こども園

日付：6月29日

コメント：川遊び体験以前のイメージ図（Mちゃん）

川遊びの前に行った、川の生き物についてのイメージである。川の中に、生き物の棲んでいるアパートのようなものにそれぞれの生き物がすんでいる。自分たちの生活環境のマンションがモデルになっているのか。水族館のようなブースを想定しているのか。

子どもたちが、自分たちの生活環境をモデルとして、未知の世界を理解しようとしていることの表れと考えられる



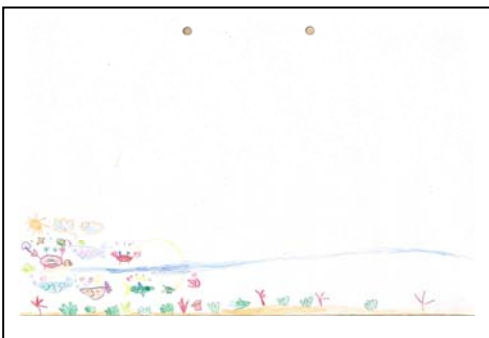
フィールド：こころの森こども園

日付：7月13日

コメント：川遊び体験後のイメージ図（Mちゃん）

川遊びで、直接触ることができた生き物のきおくがよみとれる。絵に大きく描かれていることからかわにすむ昆虫や川虫が印象的であったものと考えられることができる

直接体験することで、生き物やその環境について関心を持つようになり、注意深く観察することができるようになってきた。また、図鑑などでより詳しく調べる未知のものに対する知的好奇心の芽生えを読み取ることができる。

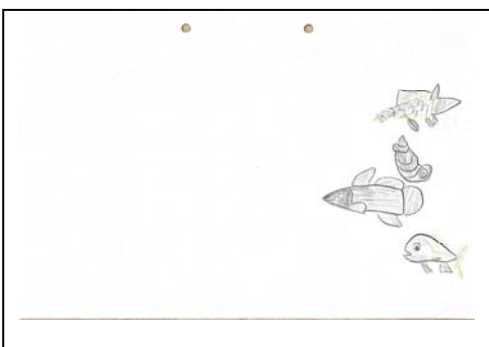


フィールド：こころの森こども園

日付：6月29日

コメント：川遊び体験以前のイメージ図（Rちゃん）

川遊びの体験前では、川底に生き物がすんでいて、固まって住んでいるようなイメージを持っていると考えられる。数は多く描きだしているが、小さく描かれ自身がなさそうな印象がある。



フィールド：こころの森こども園

日付：7月13日

コメント：川遊び体験後のイメージ図（Rちゃん）

描きだされた絵は、数は少ないが、一つ一つ大きく自信があふれている。様式化されたところが少なく、自分で観察したものの記憶がもとになってきている。川遊びでの体験で、

直接体験し、その記憶を表現することにより関心が深まっていくことを期待したい。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7111-002	七瀬川とふれあおう	こころの森こども園 徳浦貞二

主な実施箇所 大分市市七瀬川自然公園

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。  
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。  
 (縮尺は 1/50 万～1/100 万程度)

助成事業の主な実施箇所

